

平成 24 年度 事業 報告 書

平成 24 年 10 月 1 日から 平成 25 年 9 月 30 日まで

特定非営利活動法人 HERO

1 事業の成果

前事業年度に行った成果として以下の 3 点を挙げる事ができます。

- (1) カンボジアに小学校の寄贈 2 校
- (2) 学校建設について日本の学生 96 名がボランティアで参加
- (3) 貧困対策事業『マイクロ養豚バンク』の準備

(1) カンボジアに小学校の寄贈について

当団体として初めてラタナキリ州にて調査を行い、学校の不足及び老朽化の現状が確認できました。またラタナキリ州では当団体と同様に学校の建設及び補修を行っている団体が現状 1 団体しかないことも判明し、ラタナキリ州教育局からの強い要請を受け、ボーカウ郡チャイ村の小学校が老朽化で授業に支障をきたしている状態であったため、その当該敷地内に 1 校舎 3 教室の小学校建設を行い 4 月に完成しました。

また 7 月よりシェムリアップ州プラサット・バコーン郡チャースモウ村の小学校が生徒数の増加により教室数の不足が起こっていたため、1 校舎 3 教室の新しい校舎の増築を行い、9 月に完成しました。当該校舎については、寄付頂いた企業様の協力により日本の杉・檜をカンボジアに海路輸送し、全て日本の木材で建築しております。

上記 2 校とも各州の教育局と調整をし、建設後の学校運営については公立の学校として運営を行っております。

(2) 日本の学生のボランティア参加について

上記の学校建設に際し日本国内で大学生を中心にボランティア希望者を募集しスタディーツアーを実施しました。9 回の実施で総勢 96 名の日本の学生が参加し、学校建設及び農村部でのホームステイなどを体験。社会貢献に対する意識も深くなり、帰国後も引き続きカンボジアへの支援活動を独自に行う学生も出てきております。

また前期同様建設した学校において、日本の大学生と協力し運動会及び歯磨き教室を実施しております。

(3) 貧困対策事業『マイクロ養豚バンク』の準備

貧困が原因で学校に通学できない児童に向け、その家庭の収入を引き上げる事業の準備をしております。貧困家庭に豚小屋、井戸を設置し、子豚・エサの仕入れを行い、その家庭と共に養豚を行い販売益により所得の増加を図る内容です。豚小屋等の設置費用は寄贈ではなく、家庭への貸付けとし、2 年間かけて販売益から返却をしてもらいます。利子をとらずエサの卸にて運営費をまかなうモデルとしております。信頼関係が厚い 1 校目の学校を建設したシェムリアップ州ルサイ村にて、貧困家庭の面談を行い、1 家庭において豚小屋の建設を行いました。また学校の協力を得て敷地内にエサを保管する小屋も建設しております。来期より事業をスタートする計画としております。

3 運営学校報告

	名前	州	郡	村	教室数	生徒数	備考
1校目	ルサイ愛の家学校	シエムリアップ州	アンコールチョム郡	トロベアン・ルサイ村	2	178	
2校目	みんなの学校	シエムリアップ州	アンコールチョム郡	新スレイクワウ村	2	165	図書室1部屋
3校目	ローク小学校	ハンテアイ・ミアンチェン州	プノム・スロク郡	ローク村	3	317	図書室1部屋
4校目	チャイ小学校	ラタナキリ州	ホーカウ郡	チャイ村	3	180	
5校目	チャースモウ小学校	シエムリアップ州	プラサット・バコーン郡	チャースモウ村	3	626	中学合算

4 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
教育施設の未整備な地域における学校建設事業	小学校の建設 (2ヶ所)	1月～ 4月及 び7月 ～9月	ラタナキリ州チャイ 村及びシエムリアップ 州チャースモウ村	3	カンボジアの小学生 約500名(初年度、合算) 村の大工・資材屋・通訳 など15名	2,359
援助を必要とする人達への教育支援と援助物資の提供事業	歯ブラシの 提供	9月	シエムリアップ近郊 の新スレイクワウ村及 びルサイ村	1	カンボジアの小学生 約200名	
職業訓練を目的とした専門学校の建設及び運営事業	貧困家庭向け マイクロ養豚 バンク事業	2月～ 9月	シエムリアップ 近郊のルサイ村	1	世帯月収30ドル以下の 家庭1世帯	
雇用機会の拡充を目的とした雇用主への経営研修事業	未実施	-	-	-	-	-
社会貢献教育を実践するためのボランティアの養成と派遣事業	大学生向け 小学校建設 スタディーツアー	1月～ 3月 8月～ 9月	ラタナキリ州チャイ 村及びシエムリアップ 州チャースモウ村	3	日本の大学生96名	
上記(1)から(5)の活動に対する普及啓発活動事業	団体活動の 写真展開催	6月	国分寺市武蔵境 カフェギャラリー	2	参加者約100名	
その他目的を達成するために必要な事業	未実施	-	-	-	-	-

以上

活動計算書

2012年 10月 1日 ~ 2013年 9月 30日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費		123,000	
2. 受取寄付金		5,790,000	
3. 自主事業収益(スタディーツアー)		7,563,929	
4. 受取利息		135	
経常収益計			13,477,064
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 学校建設経費			
学校建設費用	4,760,594		
学校建設費計	4,760,594		
(2) 貧困対策事業			
マイクロ養豚バンク費用	151,273		
貧困対策事業計	151,273		
(3) その他経費			
スタディーツアー経費	3,393,314		
その他経費計	3,393,314		
事業費計		8,305,181	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
旅費交通費	3,003,967		
保険料	23,300		
支払手数料	24,675		
通信費	51,080		
広告宣伝費	94,850		
消耗品費	72,220		
接待交際費	13,650		
租税公課	1,380		
会議費	111,952		
雑費	0		
その他経費計	3,397,074		
管理費計		3,397,074	
経常費用計			11,702,255
当期正味財産増減額			1,774,809
前期繰越正味財産額			1,565,496
次期繰越正味財産額			3,340,305

法人名: NPO法人HERO

貸借対照表

2013年 9月 30日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	431,035		
預金(みずほ銀行)	2,521,120		
預金(みずほ銀行)	229,000		
預金(新生銀行)	281,550		
預金(カンボジア カナディアンバンク)	0		
流動資産合計		3,462,705	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			3,462,705
II 負債の部			
1. 流動負債	122,400		
流動負債合計		122,400	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			122,400
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,565,496	
当期正味財産増減額		1,774,809	
正味財産合計			3,340,305
負債及び正味財産合計			3,462,705

法人名： NPO法人HERO

財産目録

2013年 9月 30日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	431,035		
預金(みずほ銀行)	2,521,120		
預金(みずほ銀行)	229,000		
預金(新生銀行)	281,550		
預金(カンボジア カナディアンバンク)	0		
流動資産合計		3,462,705	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			3,462,705
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	122,400	122,400	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			122,400
正味財産			3,340,305

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。